



NEXT

紀の川ミーティング

第1回
報告書

2026年1月16日（金） 10：00～12：00

@本庁舎2階協働スペース

目次

1. 実施概要	3
2. 実施結果	6
3. （参考）模造紙の写真	9

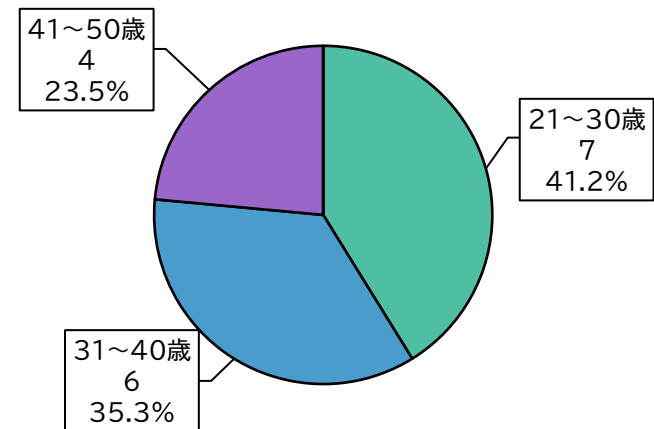
1.実施概要

実施概要

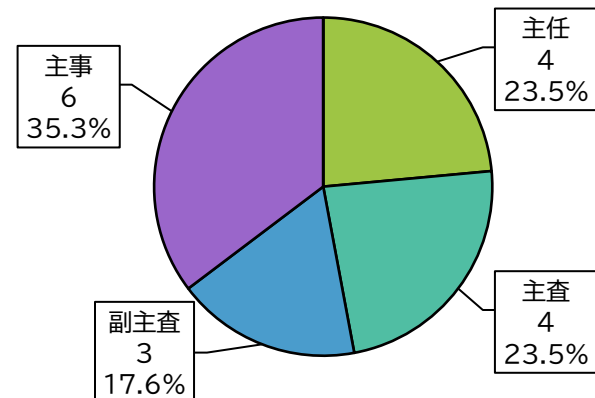
第1回NEXT紀の川ミーティングでは、これまで市民のみなさまからいただいたご意見を参考にしながら、次期長期総合計画で目指すまちの将来像について考えました

対象	主任級以下の職員
参加者数	17名
実施日時	2026年1月16日（金）10:00～12:00
実施場所	本庁舎2階協働スペース
テーマ	市民の想いをつなぐ将来像づくり
内容	市民参画の結果を活用して紀の川市の未来の姿を思い描き将来像案を作成する
成果物	紀の川市の将来像

参加職員の年齢



参加職員の役職



第1回NEXT紀の川ミーティング

第1回では、長期総合計画の概要やNEXT紀の川ミーティングの全体の進め方について説明し、グループごとにまちの将来像を考えました

時間	内容	詳細
10:00-10:05 (5分)	はじめに	紀の川市よりご挨拶
10:05-10:15 (10分)	情報共有	紀の川市長期総合計画の概要、計画策定スケジュール、NEXT紀の川ミーティングの位置づけ及び役割について説明
10:15-10:35 (20分)	ワーク①	相手の考えを理解し着地点を探る合意形成を体験いただくコンセンサスゲームを実施
10:35-11:45 (70分)	ワーク②	グループにてこれまで市民のみなさまからいただいたご意見をもとに、まちの将来像を示すフレーズを検討
11:45-11:55 (10分)	ワーク②の発表	グループ内での意見をとりまとめ、発表(3分×3グループ)
11:55-12:00 (5分)	おわりに	紀の川市よりご挨拶/次回のご案内

当日の様子

【ワーク②の様子】



各グループで、進行役・発表者・タイムキーパー・書記などの役割を決め、会場内に貼りだされた市民の意見や市民参画の報告書から必要な情報を収集し、将来像に入りたい重要なキーワードや追加したいキーワードを整理しながらディスカッションしました

【ワーク②の発表の様子】

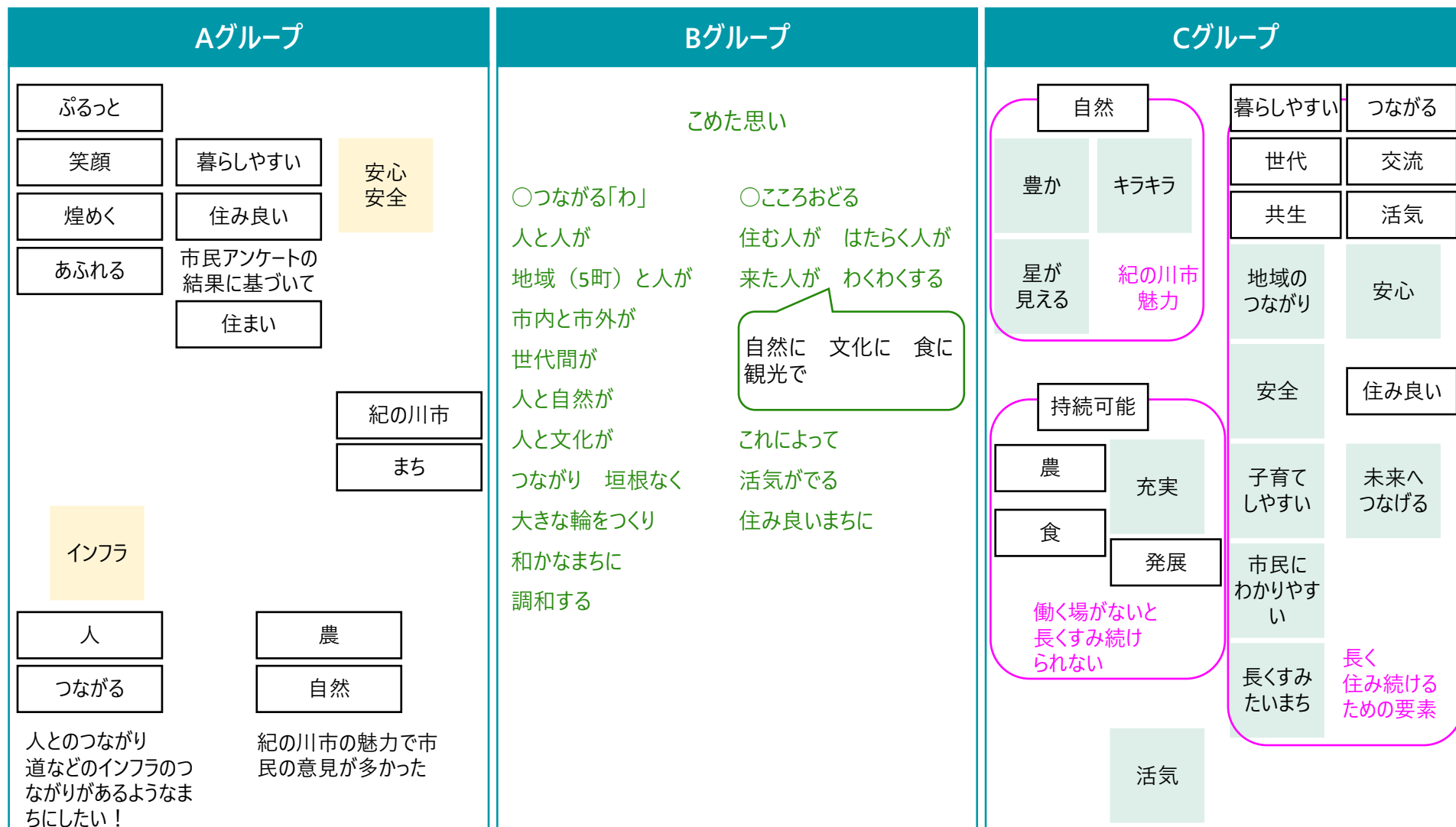


各グループで議論した将来像と将来像に込めた想いを模造紙に整理し、各グループの発表者が自分たちのグループのワーク結果を発表し、全体に共有しました

2.実施結果

まちの将来像を表すキーワード

まちの将来像を表すキーワードを書き出すワークでは、市民参画の結果を活用しながら議論し、「自然」「つながる」「住み良い」という言葉が共通する結果となりました



まちの将来像と込めた想い

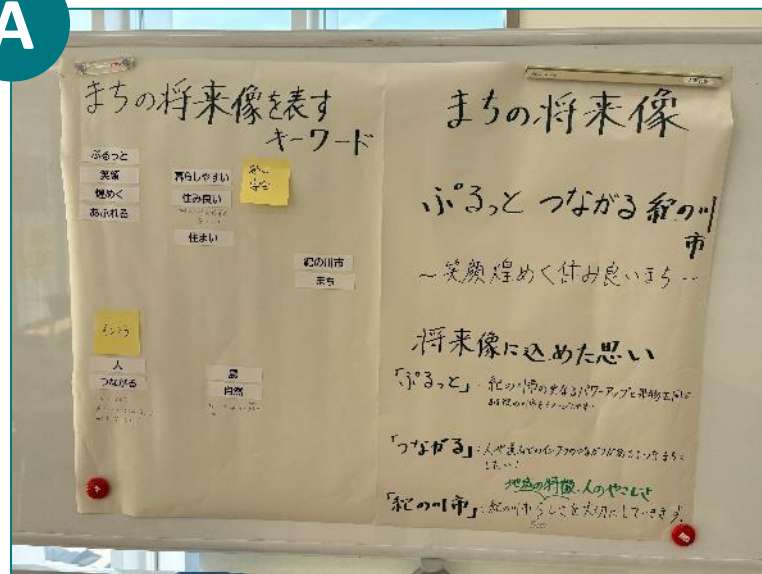
各グループで整理したまちの将来像と込めた想いは、「つながり」や「住み続けたいまち」が大切にしたい価値観として共通する結果となりました

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
まちの将来像	ぷるっと つながる 紀の川市 ～笑顔煌めく住み良いまち～	つながる 「わ」 ころおどる紀の川市	みんなでつなげる 未来へつながる長くすみたいまち
将来像に込めた想い	「ぷるっと」：紀の川市の更なるパワーアップと果物王国である紀の川市をイメージしやすい 「つながる」：人や道などのインフラのつながりがあるようなまちにしたい！ 地域の特徴・人のやさしさ 「紀の川市」：紀の川市らしさを大切にしています。		・世代間交流 ・地域とのつながり ・紀の川市の発展 ・住み良いまち ・豊かな自然を残しつつデジタル社会へ発展 ・子育てしやすいまち ・子供達が長くすみたいまち ・フルーツを全国へ ・スマート農業 ・他市他県からも来てもらえるまち お店、産業
発表概要	果物王国・紀の川市のイメージを「ぷるっと」、人やインフラの結びつきを願う言葉として「つながる」、地域の特徴や人のやさしさなど紀の川市らしさを「紀の川市」に想いを込めた。	世代や地域の垣根を越え人と人がつながるキーワードを「輪」、つながりによって生まれるわくわくや幸せなどころおどるキーワードを「和」と表現し、2つのキーワードを重ねて「わ」とした。	自然や人とのつながりを大切し、世代や地域、農業とデジタル、観光と体験など多様な交流を通じて、長くすみたい活気ある紀の川市の発展を将来像として描いた。

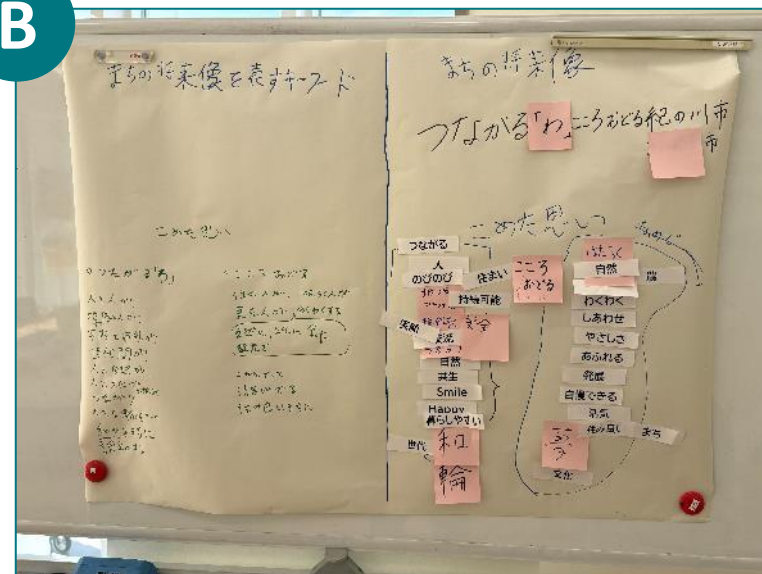
3.（参考）模造紙の写真

(参考) 模造紙の写真

A



B



C

